

田原市民活動支援センター

を知っていますか??

田原市民活動支援センターは、市内の市民活動がさらに発展していくお手伝いをするため、平成19年に田原文化会館フリースペースにオープンしました。
みなさんの熱い思いを、センターと一緒に実現させましょう!!

【場 所】 田原文化会館フリースペース内
【開館日時】 火曜日：午後1時～6時
土曜日：正午～午後5時
※田原文化会館の開館に伴う代替日は、センターHPにてお知らせします。
【電話番号】 0531-22-1111 (内線812)
※開設時のみ

1 市民活動の初心者さんを応援します!



「市民活動ってなんだろう?」
「何からはじめたらいいの?」
「どんな団体があるのかわかりたい!」

ご安心を! どんなご相談でも、まずはお気軽にセンターまでお越しください。スタッフがイチから丁寧に説明し、活動スタートをお助けします!



2 広報のお手伝いをします!



「一緒に活動するメンバーを募集したい!」
「ボランティアさんが足りなくて…」
「イベントを広くお知らせしたい!」

広報ははら・市民活動だより・ホームページ・フェイスブック・メールマガジンなど、市民の方に知ってもらう手段はいっぱい効果的な方法をご提案します。



3 市民活動を継続的にサポートします!



「補助金の申請の方法が難しい…」
「チラシの印刷にもお金がかかるわね…」
「NPO法人を設立して活動を広げたい!」

市民活動にはお金がかかります。ずっと活動を続けていけるように、補助金による支援や印刷機の提供をしています。また、活動を進めてワンランク上を目指す団体さんには、NPO法人化について支援します。



センターへようこそ! ~田原文化会館マップ~



センタースタッフからのひとこと

昨年末、我が家ではビーグル犬3匹が家族の仲間入りをしました。産まれた時は200gぐらいのちっちゃな生き物でしたが、今ではコロコロと太って歩き回り、甲高い声でワンと鳴くようになりました。可愛い仕草に癒されますが、やはり食べればおしっこやうんちもします。トイレトレーニング中なので、失敗したおしっこを踏んだり、ティッシュを持って走ったり、夜中に寒い、眠いと言いつつ片付けています。生き物を飼うということは、命を共有すると同時に、人間社会のルールの中で一緒に生きていくということです。責任を持ってしつけ、未永く愛情を注いで育てていきたいと思っています。(M)

市民活動だより VOL.26 2018(平成30)年3月1日発行

【編集・発行】

■田原市民活動支援センター
開設場所等: ①田原文化会館フリースペース(火曜日:午後1時～6時/土曜日:正午～午後5時)
②田原市役所企画課(平日:市役所業務時間内 ※祝日は除く)
E-mail shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp
HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/kurashi/shiminkyodou/1001061/index.html>
■田原市役所 企画課(南庁舎3階) TEL.0531-23-3507 FAX.0531-23-0669
E-mail kyoudou@city.tahara.aichi.jp



みんなのチカラでまちづくり

市民活動だより VOL.26

2018.3.1号

発行:田原市民活動支援センター(市役所企画課)

平成30年度 市民協働関連補助金の 事業募集が始まりました!!

田原市では、市民参画・協働のまちづくりの促進を目的として、市民のみなさんが実施する公益的な活動を支援するための補助金制度を設けています。ぜひご活用ください。



人材養成活動補助金 NEW!!

市民活動団体さんの活動に関連する講座等の受講費用を補助する「講座・研修枠」と、先進的な事例の視察・調査のための費用を補助する「先進事例視察枠」の2本柱の制度に生まれ変わりました!やる気・熱意のある方を応援します。

- 1 講座・研修枠**
 - 募集期間:平成30年2月15日(木)～平成31年1月31日(木) 随時受付(予算額に達し次第終了)
 - 選考方法:書類審査
 - 補助金額:上限3万円 予算額:9万円 ※1団体あたり年間3人以内
- 2 先進事例視察枠【新規】**
 - 募集期間:平成30年2月15日(木)～平成31年1月31日(木) 随時受付(予算額に達し次第終了)
 - 対象事業:「田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン」に定める具体的な事業
 - 選考方法:書類審査・プレゼンテーション審査
 - 補助金額:上限12万円 予算額:24万円 ※1団体あたり4人以内で年間1回限り



市民協働まちづくり事業補助金

健康福祉・環境保全・地域づくりなどの公益活動を行う市民活動団体さんを応援する制度です。市民感覚の柔軟な発想で、社会に役立つ活動を提案してみましょう!



- 1 通常枠(補助対象経費10万円以上)**
 - 募集期間:平成30年2月15日(木)～3月15日(木) ※必着
 - 選考方法:書類審査・公開審査会【3月27日(火)】
 - 補助金額:上限20万円、補助率2分の1 予算額:60万円 ※1団体あたり最大3回まで
- 2 少額枠(補助対象経費10万円未満)**
 - 募集期間:平成30年2月15日(木)～平成31年1月31日(木) 随時受付(予算額に達し次第終了)
 - 選考方法:書類審査
 - 補助金額:上限4万9千円、補助率2分の1 予算額:15万円 ※1団体あたり最大3回まで

市民活動チャレンジ支援補助金

40歳以下の若い世代の市民活動団体さんを応援する制度です。フレッシュさ溢れる斬新なアイデアで、仲間と一緒に楽しみながら市民活動をしてみませんか?

- 募集期間:平成30年2月15日(木)～平成31年1月31日(木) 随時受付(予算額に達し次第終了)
- 応募要件:5人以上の青年層(おおむね18歳以上40歳以下)の市民で構成されている団体
- 選考方法:書類審査
- 補助金額:上限10万円、補助率2分の1 予算額:20万円 ※1団体あたり1回限り



新規団体活動補助金

新たに仲間を募って立ち上がった市民活動団体さんを応援する制度です。「市民活動を始めてみたけど、活動資金のやりくりが難しい…」とお困りの団体さん。ぜひご活用ください!



- 募集期間:平成30年2月15日(木)～平成31年1月31日(木) 随時受付(予算額に達し次第終了)
- 応募要件:平成29年4月以降に設立した団体
- 選考方法:書類審査
- 補助金額:上限5万円、補助率10分の10 予算額:10万円 ※1団体あたり1回限り

愛知県による 「平成29年度ボランティア活動功労者表彰」に 田原市から2つの市民活動団体さんが選ばれました!!

この表彰は、公共の福祉を向上させるため、自主的に無報酬でボランティア活動を行い、顕著な事績を収めた個人や団体を表彰するもので、愛知県が実施しています。

今年度、田原市から2つの市民活動団体が選ばれましたので、ご紹介します。



OHPたはら

要約筆記ボランティア「OHPたはら」は、難聴者や中途失聴者へ言葉を書いて伝えるボランティアをしており、今年で20周年を迎えることができました。

聴こえの不自由さは、家庭や職場や地域においても阻害されているように感じ、社会での生きづらさに悩んでいる方も少なくはありません。中途失聴者は、健聴者のように話すことはできるけれど、自分で発言した音声が聞こえないために、大きな声になってしまいます。そして、見た目だけでは「耳が不自由」とわかりません。ちょっとした事柄にも聴こえたふりをしてその場をやり過ごすこともあり、上手くコミュニケーションがとれません。言語を伝えるには手話や口話・筆談がありますが、いずれも技術や時間などの問題で習得は困難です。そこで中途失聴者から、書いて伝えてくれるなら読んで理解ができると、「要約筆記」が生まれたのです。「この紙に書いていただけませんか?」の一言に気軽に応えるボランティアといえます。



- 主な活動内容
- 各種講演会への出張
 - 要約筆記養成講座の開催(毎年6月ごろ)
 - 個人への派遣(冠婚葬祭、病院、学校など)

◆問い合わせ: TEL ● 0531-23-0544 (代表:酒井)
TEL ● 0531-23-0610 (田原市社会福祉協議会)

くぬぎの会

「くぬぎの会」は、絵本の好きなお母さんたちが集まってできた絵本の読み聞かせの会で、平成5年に発足し、今年で25年目を迎えます。主な活動は、月2回の中央図書館でのおはなし会と、月1回の重浦市民館での親子リズムです。おはなし会は、絵本のほか、人形劇やパネルシアター、手遊びなどを組み合わせて行い、市内の保育園や小学校、子育てサークル等へも出張しておこなっています。また親子リズムとは、リズムに合わせて身体を動かして、子どもの全面发展^{*}を促すために考案されたリズム体操を取り入れたもので、同時に親子でスキップを回ることができます。

会の名前の由来のとおり、くぬぎの木の実に虫たちが集まるように、子どもやお母さんたちが絵本を中心に集い、心の栄養を得てくれたら良いなと思い活動しています。



◆問い合わせ: TEL ● 0531-22-7530
(代表:石井)

^{*}子どもが自分自身でやりたいことを選び取り、それに意欲的に取り組んで最後までやりとげるような力を育むこと。

「市民協働まちづくり事業補助金」 平成29年度に採択された事業をご報告!!

たはらサンドアートフェスティバル

たはらサンドアート実行委員会

田原の資源を有効活用し、差別や偏見のない「フーマライゼーションの地域づくり」を目指し、障がいのある児童と一緒に作るサンドアートをメインとした「たはらサンドアートフェスティバル」を、7月16日(日)に赤羽根ロコパークにて開催しました。暑すぎるくらいの快晴になりましたが、初開催にもかかわらずボランティアさんも含め、参加者は200人以上。昨年、世界大会で優勝した砂の彫刻家の保坂俊彦さん、副実行委員長で田原市ふるさと大使でもある、お笑い芸人のはんにゃ・金田哲さん、プロサーファーの杉原康幸さんや鈴木マリリンさんらが会場を盛り上げ、大人も子供も笑顔に溢れ、障がいに対する理解が深まる1日となりました。



◆問い合わせ: TEL ● 0531-36-6525 (代表:林)
HP ● <https://www.openmind-project.org/>

第4回田原リレーマソン大会

田原リレーマソン実行委員会

「サンデバルクたはら」に隣接する芦ヶ池の周りを利用し、折り返しコースで1周1.5km、14周21.0975kmをチームでタスキをつないで走る「第4回田原リレーマソン大会」を、12月3日(日)に開催しました。

心配されていた風も穏やかに天候に恵まれ、絶好のランニング日和のなか、過去最多となる86チーム600名を超える方が参加。大きなトラブルや怪我人もなく、無事に大会を終えました。今大会では、より気軽に参加できるように、参加費を1人1,000円とし、1チームあたりの人数を14人としました。さらに、計測チップを導入してラップタイムを記録。小学生以下のキッズ部門も新設し、8チームの申込がありました。昨年から実施した仮装コンテストも引き続き行い、仮装したランナーや子供たちの笑顔溢れる大会となりました。



◆問い合わせ: TEL ● 090-2185-0024 (代表:藤城)
HP ● <http://www.tahara-relay.com/>

未来につなぐ渥美半島の環境を 考えるためのプログラム

渥美半島環境活動協議会

平成28年度に発足した渥美半島環境活動協議会では、渥美半島の豊かな自然を未来に引き継ぐために、より多くの人にその大切さを知ってもらいたいと願い、「未来につなぐ渥美半島の環境を考えるためのプログラム」と題し、今年度、事業を実施しました。

1つ目は、講師に渥美半島生態系ネットワーク協議会会長の後藤尚弘氏をお招きし、「渥美半島の環境を学ぶ場」として講演会を開催し、講演後は豊橋自然史博物館館長の松岡敬二氏との対談がありました。2つ目は、「渥美半島の環境について考え合う場」として、渥美青年経済研究会、田原青年会議所、4Hクラブから20代、30代の若者に集ってもらい、若者ミーティングを実施しました。そして3つ目は、「渥美半島の環境への思いを共有し、つなげる場」として、第2回渥美半島フォーラムを開催しました。講師には、日本テレビ「ザ!鉄腕!DASH!!!」のDASH海岸コーナーに海洋環境専門家として出演している木村尚氏をお招きし、東京湾再生のために実践してきたこととお話いただき、様々な観点から渥美半島を考えることの大切さを伝えていただきました。



◆問い合わせ: TEL ● 090-9123-7983 (代表:鈴木)